

○第207回 遺伝子組換え食品等専門調査会（非公開）

日時：令和3年1月28日（木） 14：00～16：57

議事概要：

食品健康影響評価について意見を求められた遺伝子組換え食品等の安全性評価について

（1）JPA004 株を利用して生産されたキシラナーゼ

・審議の結果、食品安全委員会へ報告することとなった。

* キシランの 1,4- β -D-キシロイド結合をエンド型で加水分解する酵素です。

（2）Morph TG#626 株を利用して生産された α -グルコシダーゼ

・審議の結果、食品安全委員会へ報告することとなった。

* α -グルコシド結合を非還元末端からエキソ型に加水分解する酵素です。

（3）線虫抵抗性及び 4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズ GMB151

・継続審議となった。

* 線虫に対する抵抗性及び 4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤に対する耐性をもつダイズです

その他

（1）除草剤グリホサート誘発性雄性不稔並びに除草剤ジカンバ、グルホシネート、アリルオキシアルカノエート系及びグリホサート耐性トウモロコシ MON87429 系統

・審議の結果、食品安全委員会へ報告することとなった。

* 除草剤グリホサート誘発性雄性不稔の形質を持ち、除草剤ジカンバ、グルホシネート、アリルオキシアルカノエート系及びグリホサートに対する耐性をもつトウモロコシです。